



「第68回運動会」～限界を超えろ 心を燃やせ 輝く絆～

校長 上原 義人

4年ぶりに一堂に会して開催された第68回運動会。今年は、赤組・白組に分かれた応援合戦や中学年リレー、全校競技も復活させたことで、湧き上がるエネルギーと一体感を感じられる運動会になりました。そして演技に、競技に、応援に、また運動会を支える係の仕事に真剣に取り組む子どもたちの姿が、何よりも誇らしく思えました。

子どもたちが輝いていたのは、運動会当日だけではなくありません。本番に向けて、どのような気持ちで臨んでいくかを話し合い、学年や学級で目標を立てたり、実行委員が中心となって同級生や下級生に踊りの動きを教え合ったりするなど、運動会を通してたくさんの学び合いや励まし合う姿が見られました。一人ひとりが自分の力を出し切るとともに、仲間と協力することで、心に残る運動会が創り上げられていくことを改めて実感することができました。

本番に向けて、時にはお子さんの頑張りや成長を称え、時には壁に直面して悩む姿に励ましの声掛けをしていただいた保護者の皆様、そして、当日も全力で運動会を創り上げる子どもたちの姿に、温かい声援と拍手を送ってくださったすべての関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

「節」を大切に、強さとしなやかさを育む！

ところで、日々成長する子どもたちのことを「若竹」に譬えることがあります。それには、大きく二つの理由があるように思います。一つは、成長の早さです。竹は、ピーク時になると1日で1m以上も伸びることがあり、わずか50～60日で20mもの高さになるそうです。子どもたちの成長も、同じように早いということなのでしょう。もう一つは、竹のしなやかさ、強さを支える節の存在です。竹は、その幹が中空円筒構造をなし、さらに一定の間隔で節が配置されていることにより、しなやかでありながら、簡単には折れ曲がったり潰れたりしない強さをもっています。子どもたちにもそうした「節」を大切にしながら、たくましくしなやかに成長してほしいという願いが込められているのでしょうか。竹のもつ強さとしなやかさは、今年の運動会のスローガン「限界を超えろ 心を燃やせ」の言葉につながるレジリエンス（困難をしなやかに乗り越え回復する力）の大切な要素と考えます。また、竹林は何百、何千本の竹が地下茎でつながることで根元を強く安定させています。竹林自体が一つの植物体をなしているのです。このことは、人と人も、互いに結び付くことによって強さを得られるのだということを教えてくれているようで、まさにスローガン「輝く絆」の大切さを物語っています。子どもたちが考えた今年のスローガン「限界を超えろ 心を燃やせ 輝く絆」は、これからの子どもたち自身の成長や生き方にも通じる素晴らしい視点が込められたスローガンだったと言えるのではないのでしょうか。

さて、私たちの生活にも、たくさんの「節」があります。1日の中で考えれば、様々な挨拶の場面が当てはまります。「おはよう」「おやすみ」「いただきます」「ごちそうさま」「ありがとう」「ごめんなさい」…、挨拶は、必ず何らかの行動の節目になっています。また、学校生活にもたくさんの「節」があります。その中でも学期や学年の区切り、運動会などの学校行事は、特に大きな「節」といえます。竹が節で細胞分裂を起こして成長するように、子どもたちにとっても、こうした日常生活や学校生活の「節」を大切に捉え、様々な努力や葛藤、失敗や成功を経験させながら、簡単には折れない強さとしなやかさを育てていきたいものです。そのためには、周囲の大人がすすくと伸びゆく「若竹」を温かく見守り、愛情をこめて“つかず離れず、ほどよく手入れ（共育・協育）”していくことが求められます。10月を迎え、今年度の後半戦がスタートします。引き続き、ご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

10月の生活指導目標

「すすんで働こう」

10月 ※()内の数字は学年を、「さ」はさくら学級、「ポ」はポプラを、「低・中・高」は学年を、学校行事欄の〇数字は「〇回目」を表します。

日	曜日	学校行事	日	曜日	学校行事
1	日		16	月	全校朝会 避難訓練 クラブ6h
2	月	振替休業日	17	火	生活科体験2 放課後学習13 相談日ポ ゲーム集会 琴授業6(45h) 車いす体験4(56h)
3	火	後期指導開始ポ 委員会6h	18	水	就学時検診
4	水	ゲーム集会	19	木	歯科(全) 荒馬座鑑賞(全)
5	木	安全指導 稲刈り5(56h)	20	金	放課後学習56 ALT2さ 琴授業5(12h)
6	金	放課後学習56 ALT高	21	土	公開日 道徳授業地区公開講座2h 琴授業5
7	土		22	日	連雀コミセンまつり(音楽クラブ)
8	日		23	月	振替休業日
9	月		24	火	読書旬間始 視覚障害体験4 放課後学習13
10	火	宿泊検診さ荒馬座ワークショップ56 防災授業4	25	水	たてわり班読み聞かせ 研究授業(2-1、3-3、5-1)
11	水	作業療法ポ 研究授業(6-1)	26	木	ALT1 放課後学習24
12	木	宿泊①さ 放課後学習24 地域安全マップ3	27	金	遠足45 放課後学習56 ALT3
13	金	宿泊②さ 巡回発達相談 四中音楽会リハ鑑賞6(34h) 展覧会スローガン決定 放課後学習56 ALT中	28	土	
14	土		29	日	
15	日		30	月	全校朝会 委員会6h(11月分)
			31	火	遠足3 言語指導ポ

本校栄養士の鈴木が入籍し、10月より土井絃佳となりましたのでご報告いたします。今後ともよろしく願いいたします。

読書旬間について

学校図書館担当

秋の読書旬間は10月24日(火)～11月2日(木)です。春の読書旬間では、一人一人が、読書の記録カードに自分の読んだ本の名前を記録し、おすすめの1冊を紹介していました。秋の読書旬間も読書記録カードに取り組む予定です。その他にも、児童が本に親しみ、読書の習慣につながるような企画を行っていきます。学校での縦割り班の活動を生かした「縦割り班読み聞かせ」や5・6年生の図書委員会が1・2年生に読み聞かせに行く「低学年への読み聞かせ」その他にも、三鷹中央学園での共同企画も行う予定です。また、学校だけでなく、ご家庭での読書に親しむ機会として「家庭読書」も行いますので、ご協力よろしく願いいたします。

学校生活より(ポプラ教室)

ポプラ教室主任

ポプラ教室は、友達とのかかわりや教室での集団生活にスムーズに参加できるように支援する教室です。通常の学級に在籍しながら週に1～2時間、学校内のポプラ教室に通います。学校生活を送る上での課題に応じて個別や小集団での指導を行います。苦手なことに挑戦したり、得意なことを伸ばしたりするために、子ども一人一人に合わせた学習内容を設定しています。本来もっている自分の力を発揮し、自信をもって学校生活が送れるようになることを目指して支援を行っています。

相談も随時行っております。お子さんのコミュニケーション・行動面などで気になることがありましたら、担任の先生を通してご相談ください。

毎号、三鷹中央学園各校の様子を短信の形で掲載します。七小の様子も、三小・四中の学校便りに掲載されています。

三鷹中央学園 通信

「小学生部活動体験」がありました!

8月29日(火)と30日(水)に、七小の5・6年生の児童が第四中学校へ行き、部活動体験をしました。自分の希望する文化部や運動部の活動を、実際に中学生と一緒に体験することができ、大変貴重な時間になりました。中学校への進学が楽しみになりました。

学園各校通信「三小」

運動会 「帰ってきた紅白戦！」

「帰ってきた紅白戦 仲間との絆で勝利をつかみとれ」をスローガンに10月14日(土)に運動会を実施します。今年は感染対策が緩和されたことにより久しぶりに紅白戦を行います。自チームの勝利を目指して、取り組む姿が楽しみです。演技では各学年、リズムダンスから民舞まで幅広く、隊形移動など工夫を凝らした演技を行います。

学園各校通信「四中」

3年生：修学旅行に行ってきました!

9月21日(木)、9月22日(金)の2日間で、それぞれ1、2年生の防災授業を実施しました。みたかSCサポートネット、三鷹市防災課、消防署、赤十字、管工事業協同組合の方々の指導のもと、防災への備えや災害時の行動について学びました。

9月20日(水)～22日(金)の3日間は、3年生が京都・奈良へ修学旅行に行きました。日本の歴史的建造物に触れたり、名物を味わったりと多くの経験をしました。

令和5年度 運動会 ダイジェスト

9月30日（土）に、運動会が開催されました。子どもたち一人一人が、練習の成果を発揮し、全力で取り組んでいる姿をご覧いただけたかと思います。どうぞご家庭でも、練習や本番の様子についてたくさん話す機会をもってください、たくさんのプラスの言葉をお子さんにかけてあげてください。



【低学年】 7小のアイドル、低学年は、King&Prince の「Life goes on」と yoasobi の「アイドル」を踊りました。合計154名のチーム名は、名付けて「NANASOBI」!! 「たのしく げんきに もりあがろう!」のスローガンで元気いっぱい体を動かしました。練習では、1年生は体力の限界まで一生懸命やりきる姿、2年生は1年生を引っ張ろうと、ちょっぴり背伸びしてお兄さんお姉さんになった姿が見られ、頼もしかったです。本番は「笑顔で頑張ろうね!」という担任たちのエールとともに校庭へ飛び出して、全力の演技を見せてくれました。

【中学年】 今年の中学年は、高知の「よさこい踊り」に挑戦しました。GReeeeNの『この地へ』という曲に合わせて、笑顔で楽しく踊りました。「心を一つに 全力で みんなで楽しもう」をスローガンに、3年生と4年生で素敵な演技を創り上げました。練習では、3・4年生でグループを作り、4年生がリードしながら、お互いに踊りのレベルを上げていきました。列で踊りを揃えることや、リズムカルに全身で踊ることなど、細かなところが難しいよさこい踊りですが、本番まであきらめずに、よりよい表現になるように努力していた成果を見ていただけたことと思います。



【高学年】 七小の伝統。高学年のソーラン節は、さらなるパワーアップを目指して取り組みました。合言葉は One Team! 5・6年生で一つのチームになることを目指して、振り付けや隊形移動についても話し合いながら進めてきました。自分の選んだ漢字を背負った法被を着て、メリハリの付いた表現運動を披露することができました。

そして、今年は「みんなで一緒にできることを入れたい」という子どもからの意見を参考に、演技の中に綱引きを盛り込みました。白熱した高学年らしい綱引きを見ることができました。



【中学年・高学年リレー】 今回から中学年リレーも復活しました。各学年、代表に選ばれた選手が堂々と力強い走りを見せてくれました。中学年も高学年もこれまで、それぞれのチームで練習を重ねてきました。バトンの受け渡しの技術も走りきる脚力も3週間でどんどん伸びていきました。全校児童が見守るプレッシャーのなか、練習の成果を発揮できたチームもあれば、悔いを残したチームもあったかもしれません。どちらも全力で走り抜いた選手たちの背中はとても恰好良かったです。

【応援団】

今年は赤白分かれて5・6年生で応援団を結成しました。とは言え、赤白で戦う種目はリレーと大玉送りでした。そこで、ななっこ424名が思い切り走ったり、心一つに表現したりできるような応援を考えました。毎日、朝から練習を行いました。何度も大きな声で団結コールにエールや三三七拍子、いけいけコールの練習に励みました。日に日に動きにキレが出てきました。校庭の中心で、全校児童を応援する応援団の引き締まった表情と迫力ある声が運動会を盛り上げてくれました。



【全校競技 大玉送り】 七小では数年ぶりの実施となった、全校競技の大玉送り。練習では、赤組の勝利で迎えた本番。1・2回戦どちらとも僅差の勝負となり、運動会の最後を飾るにふさわしい、素晴らしい熱戦が繰り広げられました。係の児童が上手に大玉を運び、低学年はスムーズに転がるように、後方へ送っていました。そして3年生以降は、スピードに乗った大玉を落とさないように協力して送っていました。今年度は、白組の連勝で幕を閉じました。来年度の勝負の行方はどうなるのか。乞うご期待ください。